

寒い夜だから

皆さんいかがお過ごしでしょうか。僕は、TRFの『寒い夜だから』を聞きながらこの記事を書いています。しかし、この冬の寒さは、どうしたことでしょうか？ちなみにこの記事を書いている12月20日現在の最高気温が-4℃って、「二月かよ」ってツッコミをいれたいくらいですよ。初雪が根雪になるのも観測史上初らしいです。9月を過ぎても夏日だったあの暑さはなんだったんでしょうね。そんな極寒の冬を、快適に過ごす為のアイテムを僕が紹介します。まず、絶対に外せないのは、ユニクロの「ヒートテック」。ユニクロといっても、ユニクロメキの方ではなく、「ユニクロゼットウェアハウス」の方ですよ。「ヒートテック」が凄いのは、毎年進化している点ですね。暖かだけでなく防臭機能やら、肌に優しい成分を含んでいたり、他のメーカーには

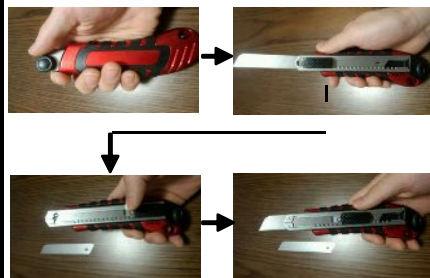


浮気できません。僕なんて、全身「ヒートテック」化ですからね。今年はさらに「暖パン」が仲間に入りました。「なんで去年は穿かなかったんだ！！」って後悔必死の暖かさですよ。しかもデザインも細めで悪くないです。最後に高校生に言いたい事があります。「真冬なのに、生足とコト着ないのは、全然お洒落じゃないから、止めた方がいいよ！！」以上おっさんの独り言でした。(A)



「連発式カッターナイフSC-8N」を使ってみる！ (第23回紙上モニター)

新年明けましておめでとうございます。新年明けて一発目の紙上モニター商品は、4連発式のカッターナイフです。さてこのカッターナイフ何が連発式なのかというと、本体内部にカッターの刃が4枚内蔵されていて、煩わしい刃の交換が簡単に連発でできるという優れたものです。女房とカッターの刃は新しいほうがいいというように、刃の切れ味が悪くなったらその場ですぐに交換を行って新しい刃で作業が行えるので、作業効率アップ間違いなし。操作は簡単、本体先端のネジを緩め刃を出し入れするスライダーを止まるまで先端まで移動させると刃が外れます。そして、スライダーを最後部まで戻すと新しい刃がセットされるという仕組みです。市販のL型の刃(18mm幅)のものが使えるので今あるカッターナイフからの買い替えでも刃を無駄にいたしません。一家に一台4連発式カッターナイフ、新年明けましてということで気持ちも新たに、カッターナイフも新たに買い替えはいいかでしょうか？新年特別超特価でご奉仕中ですのでお買い求めは森忠まで～!!(T)



刃の交換を左図のように実際にやってみるととても簡単で、不器用な私でもたったの4ステップで次の新しい刃に交換できました。



当社社員のAも大満足な使い心地

初春を考ぎ

新年のお慶びと申し上げます

～謹賀新年～ 旧年中は格別のお引立てに預かり、心よりお礼申し上げます。本年も社員一同よりいっそう技術の向上に励み、お客様にご満足いただけるサービスを心がける所存です。今年も、なにとぞ倍旧のご愛顧をよろしく願いいたします。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。この森忠新聞も旧年同様本年も、皆様のご期待に沿うべく、一層の向上を目指す所存です。

新年あけましておめでとうございます。昨年、お取引先様の一方ならぬお引き立てにより大過なく一年を過ごすことが出来ました、心から感謝しております。明けて2013年はどんな年になるのか、世界は、日本は、そして我々のフィールド、北海道は、率直に感じることは、昨年末の衆議院の総選挙は予測を遥かに超えた結果からみても私たち善良なる市民(国民)は風になびく葦のように世の中のムードで流され、左右されるものだと、つくづく思うし、3年前(前回の政権交代)にも、7年前(小泉郵政解散)にも同じ現象があったことでも納得がいく訳で、これがこの国の民主主義と云うものなのでしょう。話は変わりますが、17世紀のフランスの思想家パスカルは『人間は考える葦である』と述べている。葦は孤独で弱い人間にたとえて、風が吹くとしなり風が去ると、また元のようになり立ち上がる。人間とは、このように自然や運命の力に対して無力であるが、人間は何よりも考えることができる精神性を持つことで、ただ無自覚に猛威をふるう風と比べて、遥かに賢明で優れた存在である。と云う。このパスカルの哲学と、この国の民主主義とは何の脈絡もないと思いますが、せめて私たちは自分の頭で考え、自分の足でしっかりと立って行動したいものです。今回は、この劇的な変化の兆しを感じて期待する市民は大勢いるのではないのでしょうか。と同時に国民から信頼を失った前政権はなるべくしてなった当然の結末であると思います。そして、これからの方向が我が国の成長、発展につながり皆んなが幸せになっていくのか、あるいは逆に破綻に向って邁進するのか、私にはほとんど分からないけれど、国に期待したり国に何かを求める前にまず自助の努力をしていこうと思います。つまり、お客様との信頼関係は、日々気の遠くなるような年月を営々と築いて行って成し得るものであって、一朝一夕にできるものではありません。その大切な信頼を失うことなく、更に支持されるにはどうしたら良いのかを常に考え、ただひたすらお客様の笑顔のために、森忠社員一同が一丸となって今年も邁進する覚悟です。何卒、本年も変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 荊山 忠士

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠に、誠にありがとうございました。皆様に支えられ、弊社は今年もなんとか生き残ることができた次第でございます。光陰矢のごとし。時が経つのは実に早いもので、2012年を振り返れば、紙面に収まらないほど世の中色々ありました。当然、弊社においても色々々と激動の未公開ドラマが連発し、馬車馬のように1年を駆け続けてきた感がございます。不思議なもので、この感覚に痺れたせいか、嵐が過ぎ去ってしまうと少し物足りなさを感じてしまう贅沢でワガママな人間でございます。そうは言うものの、皆様ひとつお手柔らかにご愛顧のほど、お願い申し上げます。

さて、少し真面目なお話になりますが、会社とは、お客様によって生かされているもので、顧客のいない会社は成立しないと私共は考えております。お客様のニーズ・要望、そして無理難題に直面し、困惑し、慌てふためいて、悩んで悩んでそれに応えようと真摯に努力する。そしてまた新たな問題が訪れる。この繰り返しが継続であり、その対応ノウハウを積み重ねてこそ会社(企業)の力となる。言うは易しではありますが、弊社は世代交代の過渡期にさしかかり、新体制でこの森忠イスマを継承していきます。お客様に感動を与えられる対応、そして安心・安全な商品を提供する企業、まさに業界の「デイズ・ニード」と呼ばれる日を目指し、社員一同一丸となって取り組む所存でございます。

今一度、皆様方に更なるお力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

専務取締役 荊山 大祐



森忠新聞

1月号

(第60号)

平成25年1月7日(月)

発行元:株式会社 森忠

札幌市白石区

北郷3-2-1-3

TEL011-876-1133

FAX011-876-1144

http://www.morichu.jp/

3SDリル復活



日立ツールから発売されていた3SDリルですが、廃盤となり悲しんでいた方も多くいます。しかし、この度TRUSCOのプライベートブランドにて復活いたしました。まだまだ使える3SDリルご用命は森忠まで～!